

## 長野県飯田市の太陽光発電導入について

### ～おひさまファンドを核とした南信州地域への太陽光発電普及～

資料5の「 」印の箇所を中心に、書籍『みんなの力で自然エネルギーを～市民出資による「おひさま」革命』（おひさま進歩エネルギー会社・著）から抜粋した情報は、下記の通り。

#### 【出資者の内訳】

- ・2005年「南信州おひさまファンド」の計460名のうち、市内からの出資は58名、市外からの出資は402名。  
2008年以降のファンドについては、書籍に記載がないため、内訳を問い合わせ中。

#### 【行政財産の目的外使用について】

- ・同書籍中の牧野・飯田市長の文章

おひさま進歩からの提案を受けて当事業を始めるにあたり、私ども行政はかなりの議論を重ねた上で決断をいたしました。なぜならお堅い行政の視点からみると、「保育園は子どもを保育するためにあり、民間会社が発電をする場所ではない」ということになるからです。保育園や公民館を所有する行政の立場からみると、このビジネスモデルは明らかに「目的外使用」です。実はこの「目的外使用」の壁を乗り越えて公共的施設の屋根を実際に民間会社に貸せるかどうか、高いハードルでした。

行政は全く知らない会社にいきなり公共の屋根を貸すことはできませんから、おひさま進歩という会社はどういう会社なのかをしっかりと把握し、このビジネスモデルが地域の人々にとって本当にプラスになるかどうか、そういった議論や調査を経た上で、「この取組は自然エネルギーの活用によるエネルギーの地産地消に繋がり、環境産業の育成に資するだけでなく、環境教育を進めていく上でもいいことだから、目的外使用を長期間にわたって認めましょう」と、最終的に踏み切りました。

#### 【規模の追加情報】

南信州おひさまファンド（2005年）	太陽光発電 208kW（38箇所）、省エネ（エスコ）事業
温暖化防止おひさまファンド（2008年）など	2007年4月～8月設置（環境省メガワットソーラー共同利用モデル事業）44箇所 出力 364.7kW 2008年3月～6月設置（環境省メガワットソーラー共同利用モデル事業）49箇所 出力 335.35kW
おひさまファンド 2009 など	2009年3月～4月設置 32箇所 累計 162箇所 全発電容量 1,281kW
個人宅向け太陽光発電 0円システム	2009年度 26軒設置 出力 86,322kW 2010年度 22軒設置 出力 72,200kW 2011年度 40軒設置 出力 155,520kW